

まだ七、八歳の頃だったか、私たち姉妹に
クララから手紙が届いた。クララとは当時大
好きだったテレビアニメ『アルプスの少女ハ
イジロ』の登場人物で、性格のよいお嬢様だ。
☆良い子にしていますか☆お母さんの言う
ことをきいてお手伝いしていますか
なんて内容だった。DMダイレクションみたい
に万人向けに印刷されたものではなく、手書きで、それも
『Mちゃん・Jちゃんへ』と名前が書
かれている。

「えっ!?!」なんでクララから来るん?」
疑問を抱きつつも、まだ子供だった私たち
はクララからの手紙に夢を膨らませた。

その後クララの願い通りに良い子であつた
かどうかはさておき、手紙は居間の状差しの一
番前、いつもよく見えるところにあり続け
た。

今考えれば、クララが日本語で書くなんて
おかしいのだけれど、当時そんなところにま
で知恵が回るはずもなく、ただただ嬉しい気

持ちでいっはいだった。

何年も経ってから「あれはお父さんやった」と種明かしをされたが、私たちの中では「ワララ」からの手紙「」であることに変わりはない。大人になってからずっと年下の従兄弟宛に年賀状を出した。

「ドラえもんよりA君へ おめでとう」
彼の名前に身内しか知らない内容の文面でウィットに富んだ父のアイデアを頂いたのだ。得意のイラストも入れられるところが手書き

のいいところ。

数日後。A君の母親である叔母から電話がかかってきた。

「あの年賀状、茉緒ちゃんですよ。大阪・ドラえもんよりってなってるから。」

A君は大喜びだったらしい。

「どうしてドラえもん僕が阪神ファンって知

てるんだろ？レ

ふふふ。